



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE

T O S Y ' S

東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日  
チャーター認証日 1989年5月 2日  
チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE  
2-18-12,NISHIWASEDA,SHINJUKU-KU,TOKYO  
PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後7：00  
(但し、12月・5月は山中湖センターで土日)  
第二例会：翌週土曜日 午後4：00

## 2013年11月号ブリテン 第282号

### 2012-2013年度主題 (Theme)

会長 小山 憲彦  
副会長 大谷 博愛  
書記 小山 久恵  
会計 柴田 弘子  
直前会長 菰 渕 光彦  
担当主事 岡 田 ナスカ

Our Motto 国際標語  
国際会長 Poul V. Thomsen  
アジア会長 岡野 泰和  
東日本区理事 渡辺 喜代美  
あずさ部部長 藤江 喜美子  
サンライズ会長 小山 憲彦

IBC：台北ユニオン DBC：東広島・京都プリンス

To acknowledge the duty that accompanies every right  
強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う  
「全ての世界に出て行こう」 (デンマーク)  
「未来を始めよう、今すぐに」 (西日本区)  
「いざ立て」 (十勝クラブ)  
「心をついに あずさ号前進」 (東京たんぽぽ)  
「目覚めよう！ 立ち上がろう！ 歩きだそう！」

### 11月第一例会のお知らせ

とき 11月14日(木曜日) 19:00~  
ところ 東京YMCA 山手センター  
かいひ 500円  
とうばん (弐組)江原、小山(憲)、柴田、中馬、深田(恭)

#### ◆プログラム

開会点鐘 小山(憲)会長  
ワイズソング・ワイズの信条 一同  
ゲスト・ビジターの紹介 小山(憲)会長  
卓話 『燃料電池の話』 日産自動車 宮岡 浩さん  
テイスティング・タイム 一同  
ハッピーパースデー 小山(憲)会長  
協議・報告・連絡事項 会長・各担当  
にこにこ・一分間スピーチ 出席者全員  
閉会点鐘 小山(憲)会長

本音で語ろう会 例会の続きを“本気”で“本音”で  
伊丹亭 21:15~

### 11月以降の予告

11月16日(土) 山中湖センター90周年記念会 13:30~  
11月23日(土) 第二例会 会場未定 16:00~  
12月 1日(日) 山手センター会員クリスマス 18:00~  
12月 7日(土)~8日(日) 山中子どもクリスマス 13:00~  
富士五湖クラブ合同クリスマス例会 17:00~  
12月22日(日) 第二(お散歩)例会・忘年会 12:00~

### 10月第一例会報告

菰渕光彦

10月10日(木)東京サンライズクラブ第一例会は19時を5分過ぎてからYMCA山手コミュニティーセンターで開催しました。小山会長の開会点鐘の後、ワイズソング、ワイズの信条の唱和のあと、会長から「ワイズにはじめて参加した時、突然ワイズソングを歌わせられたりして、戸惑ったことを思い出した。」というスピーチで、初参加の皆さんの気持ちが馴染んだなかで、ゲスト・ビジターの紹介がおこなわれました。まず来月のゲストスピーカー宮岡さんについて紹介者の江原メンは「宮岡 浩さんは飲み仲間、日産自動車で電池を研究しているという事までしか知りません。宮岡さんは来月のゲストスピーカーなので、雰囲気味わっていただくために、本日来ていただきました。内容は楽しみに。」と、紹介されました。

【次頁へ続く】



【卓話者の大石さん】

### 11月のハッピーパースデー

18日 菰 渕 恵美子 メネ  
19日 江 原 喜 子 メネ  
27日 菅 原 美紀子 さん  
30日 大 谷 英 子 メネ

### ワイズの信条

自分を愛するように隣人を愛そう  
青少年のためにYMCAに尽くそう  
世界的視野を持って国際親善を計ろう  
義務を果たしてこそ権利が生ずることを悟ろう  
会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

### 10月例会出席者

在籍 15名  
メン 10名  
メネット・コメット 2名  
ゲスト・ビジター 6名  
出席率 67%

●10月のBF切手：0.0kg(累計：0.0kg) ●ニコニコ：1,953円(累計：10,193円) ●ブルタブ：0.0kg(累計：169.0kg)

【東日本区へ納付済み：144.5kg】

次に、島田メンから横浜YMCA健康教育部で勤務されていた頃、同僚だったゲストの大浜御夫妻の紹介がありました。現在はお二人ともバレーボール指導の専門家として、NPO法人を立ち上げ体育の指導者として活躍されています。大浜三平さん、大浜あつ子さんがそれぞれ自己紹介されました。このお二人には、「いずれ卓話をお願いしたいと思います。」と会長から要請があり、ゲストスピーカー大石精一さん、サンライズの柴田メン、御園生メン、菰渕メン、江原メン、島田メンの順で小山会長から紹介がありました。

「ブリテンが間に合わなかったことで、例会プログラムをご覧ください。」という会長からの報告のあと、大石さんのレジメが配布され卓話が始まりました。

三億円事件のあった年に千葉県で生まれ、安房郡の説明から始められました。温暖な季候のなかで育まれて、大学では西洋史学科に入り古代エジプト史の勉強をされ、葛飾区の遺跡の調査の仕事に就かれ、海外でこの仕事を行いたいと思われ、ブルガリアの遺跡調査に青年海外協力隊・考古学隊員として活動されました。帰国後現在では、「社団法人協力隊を育てる会」に勤務されています。まず、ヒエログリフという文字の説明があり、この文字は日本人が一番理解しやすい文字で、その特徴は縦書き横書きが自由で、右からでも左からでも良いという点に見ることができます。続いて、ひらがな、漢字、送り仮名という概念にも共通性があり、偏とつくりの概念や、ヒエログリフを組み合わせることによる言葉の意味の概念についても説明されました。ヒエログリフは書くのはたいへんですが、読むことは簡単であり、たいした事が書いてある訳では無かったことや、特に多かったのは食べ物の文字であって、死後の世界でお墓に食べ物が供されることを、エジプトの人びとは意識されていたのだと云う事などを一気に説明されました。一方でパピルスに書かれている文字は解説が難解で、学者クラスでない手に負えない文字だったそうです。古代エジプト語を継承するコプト正教会にはコプト語という母音が判らない言語があり、日本には読める人がいなかった事もあり、大石さんにはコプト語の専門家になるように各方面から推薦があったようです。卒業後、三浦産業という発掘調査会社に就職、刷毛を持って遺跡を発掘する作業とは違い、実際は一輪車を押すネコ作業が9割という力仕事の現場でした。当時はバブルで建築ラッシュの状況で、埋蔵文化財保護法のもと、遺跡が発掘されると遺跡調査が必要となる物件が沢山あったことで、仕事も多かったとのこと。最近では、東日本大震災で高台移転がなかなか進まないのは、高台に遺跡が多くありその調査に時間を取られたことが原因で、東北で遺跡調査をしている友人達のジレンマだそうです。レジメによる東京の遺跡は2万年前に大きな川だった湿地帯のなかで、泥の中から腐食せずに元の形の残った器が出土したことなどのお話がありました。つづいて青年海外協力隊でブルガリヤへ行く事になり、先ず訓練が3ヶ月ぐらい有り、駒ヶ根の訓練所に入りブルガリヤに行く8人で厳しい軍隊的な生活を過ごしたそうです。平成6年12月に首都ソフィアでホームステイ、50年続いた体制が変わり経済文化ともに混乱していた暗い国で東洋人にも不満のはげ口が向けられていました。任地はラドネゴという僻地でコアキア平野という平地地帯でひまわり畑や綿花の草原で、家を与えられ、石炭火力発電所の石炭露天掘り採掘に於ける緊急調査をされました。ブルガリアの歴史のお話があり、14世紀から500年位のあいだオスマントルコの支配下

にあつて、イスラム教に改宗か、キリスト教のままかの選択を強いられた頃で、発掘の話がつづきました。お墓の発掘は、レジメの写真を見ながら説明され、腕輪・イヤリングなど女性の墓は特徴があるが男性の墓からは何も装飾品は出なかったという事や、手を組んでいるものがキリスト教、手を伸ばしているのがイスラム教でメッカの方向を向いていたという特徴を写真から見る事ができました。要塞や教会の遺跡調査もされたのですが、12世紀頃までの発掘物は遺跡として認められ、オスマントルコ時代の発掘は遺跡とは呼べないとされたそうです。

周りに日本人がいない生活は楽なことが判ったことをはじめ、いろいろな面で2年間暮らせたことが良かったことと、得るものが多く、参加して良かったと思ったそうです。ノルマが無く、指令もなく、自分で考えることで、自由であることが青年海外協力隊の特徴で有り、帰国後の再就職率も80%を越える状況です。

最後に「協力隊を育てる会」の趣旨は「協力隊に参加しやすい環境を作りましょう」というもので、「青年海外協力隊の経験は人それぞれ国によってみんな違う価値観(心のものさし)みたいなものをもう一個、持って帰ることだと思います。もしかしたら違う国の人たちはこういう価値観を持っていますというような、ブータンの幸福度みたいな事が最近注目されてきましたけれど、協力隊に行くのは人生の中で回り道をした人でないと思えないような景色があるとか、世界でも忘れてしまったことをもう一回思い起こして帰ってくるというような、只、途上国の人の国作りのために行くのでは無く、2年の経験を自分の経験だけに納めておくのでは無く、日本の国の地域とか社会に生かしていけるような、いわゆる多様な価値観・いろいろな人たちのいろいろな考えを尊重してゆくような社会を目指してゆく事を究極的な考え方として持って活動を進めているところです。」と卓話を締められました。



【一生懸命理解しようとしているメンバー】

テースティングタイムでは「大石さんのお名前をヒエログリフでお書きになれますか。」「協力隊は何年に成りますか。」「ブルガリアのヨーグルト等、乳製品の扱われ方は」「ブルガリアのスポーツ強化から見て国家体制の現状は」など質問がありました。会長から卓話のお礼を大石さんに行い、ワインの説明、ハッピー・バースデーを挟んで、報告がありました。台北ユニオン30周年記念訪問は来年5月末に変更。10月第二例会は19日(土)小山亭でおでん仕込みを兼ねて行う。翌日20日(日)山手センターバザーではおでんと水餃子を販売。11月9日(土)～10日(日)の京都DBC3クラブ合同例会の出欠に関して。11月16日(土)山中湖センター90周年感謝会では車椅子贈呈式。12月1日(日)の山



手センター会員クリスマスに今年は参加可能。山中クリスマスは12月7日(土)～8日(日)に開催、ビンゴ景品を要請。

その後、岡田担当主事からYMCA報告があり、バザーへの抽選券の販売と献品のお願いがありました。11月8日(金)のチャリティーコンサートと募金協力の説明、チャリティーラン報告とリフレッシュキャンプ報告、聖路加病院と共働のYMCAキャンプ報告、今後の行事として、ソフトボール大会、東京・北京パートナーシップ、チャリティーコンサート、本日スキーキャンプ募集開始など盛りだくさんの報告でした。1分間スピーチで全員がアピールした後、小山会長による閉会点鐘で21時10分終了いたしました。

ひきつづいて、恒例セットの伊丹亭「本音で語ろう会」は21時20分から行われ、深夜まで盛り上がりました。

出席者：江原、大谷、岡田担当主事、小山(憲)、小山(久)、菰淵、柴田、島田、御園生、大石さん(卓話者/島田友人)、大浜さんご夫妻(島田友人)、宮岡さん(江原友人)

#### 10月例会のワイン 担当 菰淵さん

・CHATEAU HAUT PASQUET 2010 (FRANCE)  
ボルドーの家族経営シャトーの造るパリ農業コンクール金賞受賞ワイン。メルロー1/3

・SICHEL BORDEAUX BLANC 2011 (FRANCE)  
淡いレモンイエロー。ハーブや柑橘類のフレッシュな香りに、白桃やマンゴー等の南国系フルーツも。加えてミネラルやスモーキーさも混じり合う。柔らかく適度な酸がフレッシュ感をもたらし、熟した果実のような丸みのあるエキスとバランスを保っている。アペリティフや、淡白な肉料理と共に。キリッとして飲み口がよく、サラダやシーフードなど料理を選ばない爽やかな白ワインです。セミヨン70%、ソーヴィニヨン・ブラン30%

#### 10月例会のチーズ 担当 柴田さん

・ナチュラルチーズ  
ブルサン ガーリック&ハーブ (フランス)  
・チェダーチーズ トップバリュ6pチーズ

#### 10月例会のパン 担当 柴田さん

・ダロワイヨ バケット・バタール  
・パスコ 三角帽のクロワッサン

### 10月第二例会

柴田弘子

10月19日(土)午後4時からひばりが丘の小山亭で、翌日の山手バザーに出店するおでんの仕込をお手伝いするはずでしたが、三々五々メンバーが集まった頃には、ほとんど出来上がっていました。例会終了後に懇親会をする予定も、テーブルに並んだ出席者の一品持ち寄り、大谷さん、中村さん(山手)の差し入れの品々で早速懇親会になりました。アルコールも入り居心地のよさと、気兼ねの無い会話に時間も忘れ、小山亭を後にしたのは11時近かったと思います。小山さんには毎年おでんの材料の仕入れから仕込までしていただいておりますが、私たちが帰った後も、おでんの仕上げをされたと思います。感謝です。

報告、打ち合わせ等、特にありませんでした。

出席者：江原、小山(憲)、小山(久)、菰淵、柴田(弘)、柴田(公)、長津(徹)、長津(絹)、正村さん(参遊會)

### 山手バザー

小山久恵

10月20日(日)山手センターにてバザーが開かれました。サンライズは今年もおでんと水餃子を販売しました。

当日は生憎の雨で、売り場がいつもの駐車場入口付近の好立地から、人里離れた3階の廊下一番隅の奥まった場所になりました。同じ階には、階段を上がって来ると真正面に見える所に学舎のカレー、ちょっと左を見るとリーダー達のケーキとコーヒー、その陰に隠れて我がサンライズのストール、お休み処となったホテル学校調理室の中にたんぼぼのフルーツポンチが出店していました。開店するや学舎のカレー、リーダーのケーキとコーヒーはどんどん売れて行きます。サンライズは閑古鳥。そのうちポツンポツンと若者達が水餃子を買ってくれるようになり、遅まきながら何とかという状態になってきました。この日は雨降りのため例年より寒く、おでんも売れだし、昼食時には売れ行き好調、お蔭様でお昼過ぎ、抽選会が始まる頃には完売となり、サッサとお片付けをして店じまいができました。材料費等を差し引き18,190円を山手センターに寄付しました。

参加者：小山(憲)、小山(久)、菰淵、柴田(弘)、長津、御園生  
サクラ：江原・喜子メネット



### 初めての富士(なんちゃって登山)

長津 徹

10月5日の土曜日、富士山例会のオプションツアーに高地順応をかねて「五合目」まで登りました。

新宿発7時10分発の高速バスに乗車。はやる気持ちとうらはらに雨はどんどん強くなります。上野原のS字カーブで発生した事故(上下線同時)で若干遅刻しましたが、無事合流して富士五湖クラブ後藤さんの車で富士吉田口登山道の馬返しまで送っていただきました。一行は宮内夫妻(武蔵野多摩)・長谷川あや子(八王子)・私に富士山ガイドの元ちゃんの5名。登山道は整備されていて登りやすかったのですが、降りしきる雨と予想以上の暖かさでポンチョの中は汗でぐっしょり。ゆっくり3時間半かけて五合目の佐藤小屋に到着した時はシャツが絞れるほどのぬれ方でした。ぬれた衣服や靴は佐藤小屋の主、保ちゃんに乾燥室で干し

ていただきあつという間に乾きました。早速富士山例会の登録を済ませ、かいこだなへGO!、バーベキュー開始までぐっすり寝てしまい、部長公式訪問で元ちゃんの入会式なども執り行われた例会には出ずじまいでした。6時過ぎには雨も止み星空の下でのバーベキューとなり、例年通り沢山の美味しい食材と持ち寄りが集まったお酒で煙いながらも楽しい宴となりました。今回はすでに常連になっている京都からプリンスクラブの岡西夫妻を始め、4組のカップルが参加で再会の杯を交わしました。今回は翌朝のご来光が期待できるのであまり夜更かしせず、早めに眠りにつきました。

5時に起床し外に出ると満天の星空。暗い中ヘッドランプをたよりに、望月さんの先導で30分くらいかけて六合目付近まで登ると、森林限界の上で吹きさらしの展望の良いところに出ました。ここで徐々に明るくなってきた東の雲海からのご来光を見ることができました。小屋に戻ると待望の朝食です。美味しいおかずと松茸ご飯を堪能しました。小屋のかたづけを手伝った後、岡西一行の車に便乗して高速バス停まで送っていただき、来月の京都訪問までの短い別れを惜しみました。

## 第11回富士山例会2日目 お中道ハイキング

菟淵光彦

10月6日(日)9時30分、佐藤小屋に残留する皆様に別れを告げてオプションツアー参加のため、まず富士五湖クラブが手配された3台のワンボックスカーに分乗して奥庭のパーキングまで移動。昨日入会したばかりの登山ガイドの元(ケン)ちゃんこと石田元志(インダモトユキ)メンがメインガイドで総勢20名を引き連れて奥庭パーキングから富士山の山道に入り、大沢崩れへ向けてハイキングはスタートした。一方、望月 勉次期部長はサブガイドとしてしんがりから落伍者を見守る。私は昨日来の天候不順を危惧して雨傘1本と、ヤッケをもつてのハイキングとなった。

なだらかな斜面を15分ぐらい進むと大沢崩れ工事の資材を運ぶヘリコプターが駐機するヘリポートに突き当たった。そこを左折して、更に上り坂を進むと、お中道の入口の石碑のある山道が現れた。ここから出発地点に戻る谷治さんとお別れして、残りのメンバーは細い山道を登り始めた。佐藤小屋の裏山みたいな傾斜地だった。一列で整列して、上りばかりが続いたが、帰りは楽であると納得しながら風景を眺める余裕もあって、だけかんばやこめつがの森だった。途中、仏石流しと一番沢の荒涼とした砂礫地を通過して、もってきた傘はその役割を杖に変え、ヤッケは邪魔になるので道路脇に置かせていただき帰りに捨てることとした。ところが、最後を見守る望月サブガイドが、ヤッケの落とし物があったとして大沢崩れまで持ってきてくださった。感謝。アップダウンを繰り返しながら目的地大沢崩れのすぐ横に出た。狭い道で踏み外すとキツト二度と戻ってこれないような足もすくむような所だった。緊張のあまり撮影した写真は顔半分だった。地震が起きたらどうなることだろうか。そこでは、トイレが一つあって皆さん用を足して、こんどは来た道を黙々と戻った。往路よりはすれ違ふ人が多く感じた。そして、時間的にも早く下山することが出来た。ルートは平坦という事だったが、実際はくだりの方が多く有り、景色を見ながら降りてくる余裕すら感じる事が出来た。

トイレに行くのを我慢していたこともあって、奥庭パーキングのトイレは実に快適な個室となった。

## その死に方は迷惑です

久保田圭二さん(参遊會)

こんにちは、元広島クラブの久保田です。小山さんから原稿依頼があり、思うままに。

最近、公正証書遺言書と尊厳死の宣言書を作りました。

自分の最後は、自分で守るしかない。生まれるときは自分の自由にはならないが、死ぬときは自分で指図できる。元気なうちに「最悪の事態」に備えよう

◎「尊厳死の宣言書」は将来、自分が事故や病気で回復見込のない状態になったら、薬で痛みを和らげる治療にとどめ、延命治療をすることなく安らかに死なせてほしい。

(文例としては)私が将来なんらかの病気・事故により、それが不治のものであり、かつ、その病気・事故が原因で死が迫っている場合に備えて、私の家族及び私の医療に携わる方々に、自らの死のあり方について、次の通り希望を申し述べます。私の病気が、担当責任医を含む二人以上の医師の客観的・医学的知見によって、不治の状態にあり、かつ死期が迫っていて、延命措置を行うと否かとかかわらず死に至り、その延命措置が単に死の過程を人為的に引き延ばすだけであると診断を受けた場合には、苦痛を伴う手術や延命のみを目的とする措置は極力避け、苦痛を和らげる最小限の措置にとどめて、人間としての尊厳を保った安らかな最期、すなわち尊厳死が迎えられるようにご配慮願います。

理由としては、

- 一、知人が肺がんにより入院治療を受けたが、その末期は意識が全く定かでなくて、やせ細り、心臓だけががろうじて弱々しく動いているだけで、その姿は見るに忍びず、あたかも地獄を見ているかのようであり、早く楽にしてあげたいと願った切実な体験があったこと。
- 二、そのときの知人の体は管だらけであり、あえて言うならば、現代医学により無理に生かされているといっても過言でない状態であったこと。
- 三、そこで、尊厳であるべき人間の最期がこのような姿であつてよいはずがないという怒りに近い感情を覚えたこと。
- 四、最近、医療技術の高度化、専門化に伴い、医療費は際限なく高額化し、患者と家族の経済的負担が深刻な悩みとなっており、この観点からも必要不可欠な医療措置以上のものは望みません。
- 五、警察・検察の関係者におかれては、私の家族や担当責任医が私の意思にそった行動をとることにより、これらの者を犯罪調査や追訴の対象とすることのないようお願いいたします。また、これらの者は民事上の責任も免れるものとします。

これを明記しておかないと刑事責任を問われる。

以上

「自分が死んでも、あととはなんとかなるだろう」

残された家族が一番困ること。

葬儀のやり方、亡くなった人の遺産の分け方、預金・株がどこに預けてあるのか、借り入れがあるのか。

◎遺書と遺言書の違い

遺書はプライベートなもので、遺言書は公的な性格を持つもの。

遺言書は2種類ある。自筆証書遺言書と公正証書遺言書がある。

・自筆証書遺言書は名前とおりの遺言書の全文を自筆で書くもの。



2013年11月1日発行

東日本区理事 渡辺喜代美

誤字脱字があると無効。相続人が相続する前に家庭裁判所で遺言書の検認を受けなければならない。手間と時間がかかる。紛失の可能性がある。

・公正証書遺言書は遺言する人が公証人に遺言の内容を話して文章を作成してもらう。証人が二人いる、費用がかかる、すぐに手続きができる。相続人以外人(内縁の妻)にも遺贈できる。子供のいない夫婦は配偶者と亡くなった人の親、または兄弟が相続人になる。未成年の子がいる場合、家庭裁判所で特別代理人を選任してもらう必要がある。遺言の執行者を決めておくことができる。再婚者同士の場合とくに作っておいたほうがよい。

・相続に手間取ると、税制の特別措置がうけられない(小規模宅地の減税の特例、配偶者の税額軽減の特例)10か月以内

・遺言書に書ききれないものは「付言事項」に書く。

・公正証書遺言書にすれば公証人役場で謄本が取れる。

・費用は平均37,000円ぐらい。

・公正証書遺言書を作るのになにがいるか？

1. 本人である証明書
2. 相続人との関係戸籍謄本
3. 不動産がある場合は登記簿謄本と固定資産税のセップ
4. 預貯金の資料
5. どのように相続させるかの資料
6. 証人二名の氏名、住所、生年月日、職業

遺言執行者を決める場合は証人と同じ

(ア)遺言書がなければ遺産分割協議書を作らなければならない。

・相続人全員の印鑑がそろわないと預金が下せない、不動産の移転登記が出来ない、売ることができない。

(イ)遺産分割協議書とは、相続人全員が相続はだれがするか決めて全員の印鑑がいる、全員の戸籍謄本がいる。1人でも欠けると相続できない。

(ウ)法定相続分

・配偶者と子供 二分の一ずつ

・配偶者と直系尊属 配偶者が三分の二、直系尊属が三分の一

・配偶者と兄弟姉妹 配偶者が四分之三 兄弟姉妹が四分の一

(エ)遺留分、遺言書で相続人を外しても遺留分がある。

・相続人が直系尊属のみの場合は 遺産の三分の一

・それ以外の場合は 遺産の二分の一

以上のように尊厳死の宣言書と遺言書は何歳の時に作っても、有効期限はない。

### 強調月間：ファミリー・ファースト

ファンド委員会

#### Family Fast

ファミリー・ファーストは日本区時代の事業主任の提唱で始められた日本独自の事業で、11月10日のワイズの日を記念してTOF事業を家庭・友人・知人で行おうという事業です。食事を一食抜くか、おかずを一品少なくして、その分をワイズに献金するという事業です。当初はTOF事業の一環として、世界の飢えた人々のために使われていましたが、国際がUGP(世界統一5ヶ年継続)事業を始めた時点でその原資に献金することになりました。5ヶ年のSTOP HIV/AIDS事業が終了した時点で、東日本区は事業の継続を決め地域奉仕事業に移管され、その時からファミリー・ファースト献金は国内のAIDS関連事業の原資として使うことになりました。

メンバーの皆さまには、会長よりメール添付で配信します。尚、あずさ部部长通信、各事業主任通信、東日本大震災支援対策本部ニュース等、東日本区よりのお知らせも添付します。

\*\*\*\*\*

### ご近所のクラブでは

交流委員会

あずさ部では部内交流に力を入れております。隣のクラブをのぞいて見ることでワイズの輪が広がり、ワイズの和も深まります。ぜひ他クラブ訪問を実行してみてください。

- ◇11月 5日(火)19:00～ 甲府21クラブ
- ◇11月 5日(火)19:00～ 富士五湖クラブ
- ◇11月 9日(土)18:00～ 東京八王子クラブ
- ◇11月 9日(土)18:30～ 松本クラブ
- ◇11月12日(火)18:45～ 甲府クラブ
- ◇11月12日(火)18:30～ 東京たんぼぼクラブ
- ◇11月13日(水)19:00～ 東京武蔵野多摩クラブ
- ◇11月19日(火)18:30～ 東京山手クラブ
- ◇11月20日(水)19:00～ 長野クラブ
- ◇11月21日(木)18:45～ 東京西クラブ
- ◇11月28日(火)18:30～ 東京セントラルクラブ
- ◆12月 1日(日)18:00～ 山手YMCA会員クリスマス
- ◇12月 1日(日)18:00～ 東京たんぼぼクラブ
- ◇12月 1日(日)18:00～ 東京セントラルクラブ
- ◇12月 3日(火)19:00～ 甲府21クラブ
- ◇12月 3日(火)19:00～ 富士五湖クラブ
- ◇12月10日(火)18:45～ 甲府クラブ
- ◇12月11日(水)19:00～ 東京武蔵野多摩クラブ
- ◇12月14日(土)13:00～ 松本クラブ25周年記念例会第15回アジア賞授賞式
- ◇12月14日(土)18:00～ 東京八王子クラブ
- ◇12月17日(火)18:30～ 東京山手クラブ
- ◇12月18日(水)19:00～ 長野クラブ
- ◇12月19日(木)18:45～ 東京西クラブ

\*12月は各クラブでクリスマス例会等、例会日が変更になることが多々あります。確認の上ご出席ください。

### 会費納入のお願い

今年度第1期の会費の納入期限は8月末日です。お忘れのないよう納入してください。よろしく願い致します。

一括全納(8月末)	48,000円
各回毎に(8,1月末)	24,000円
各回毎に(8,12,4月末)	16,000円

※本年度も災害時積立て金として、初回納入時のみ2,000円を追加して納めてください。年額合計50,000円になります。

○三井住友銀行 恵比寿支店 普通口座:6762355

○口座名 東京サンライズワイズメンズクラブ

## 西条便り

Vol. 124

東広島クラブ 佐々木集子さん

あれほど暑い暑いといっていたのに急に気温がさがり街路樹の紅葉が綺麗です。

今月はこれといった行事がありませんでした。北海道のじゃがいもの入荷があり今年是他からの注文が100箱あり300箱の売りさばきをします。ファンに潤いができ喜んでます。

11月12月と行事が目白押しです。頑張っってこなしていきます。

## 今月の京都プリンスクラブ Vol. 42

京都プリンスクラブ 岡西博司さん

先日は富士山例会に参加させて頂き、感謝です。とっても楽しくて、充実した3日間でした。(前日は富士山YMCAに宿泊しました)

二日の例会には、パレスクラブの大野さんに来て頂き、ワイズに居る理由が分かった気がしました。また第二例会には若い女性のタップダンサーに来て頂き、三クラブ合同例会を楽しみました。グローバルクラブの人数に圧倒された例会でした。

13日には、京都で全国YMCAリーダー研修会があり、ワイズのメンバーが昼食を提供しました。我がプリンスは、サンマ100匹を炭焼きで提供できました。

11月の3クラブ合同DBC例会楽しみにしていますね！お待ちしております。

## お散歩例会&amp;忘年会

お散歩委員会

12月第二例会は22日(日)にお散歩例会として開催されます。どこを歩くかは未定ですが、歳末の風物詩を求めて、神社仏閣、商店街などを散策する予定です。どこか良い所があったらアイデアを提供してください。

また、例年通り「お散歩例会」に引き続き「忘年会」を行います。二年続けて「矢羽寿司」で行っていますが、こちらも何か良いアイデアがあったらお勧めください。

## 松本クラブ25周年記念例会

交流委員会

12月14日(土)13時より、松本クラブ25周年記念例会、第15回アジア賞授賞式が、松本市深志「梅風閣」で開催されます。

◇市民公開記念講演 「身近になった新しい癌治療ー陽子線治療」

◇記念例会 邦楽ミニコンサート「栄村震災復興支援」

◇祝宴交歓会 演奏:ソーナイスオーケストラ

盛りだくさんのプログラムです。期待してご参加ください。

## 編集後記

つい先日までの夏の様な気候が、突然秋を通り越して冬になってしまいました。昨年とはとても少なかった公園のドングリが今年は絨緞を敷いたようにたくさん落ちていて、山では動物たちも喜んでいだろうなと思っていましたが、突然の寒さに戸惑っていることでしょう。月初めに風邪を引いてしまい、昨年は一度も袖を通さなかった長そでのシャツを引っ張り出して寒さをしのいでいます。

(Non.O)

## 山中湖センターだより

山中湖センター 小俣雅稔さん

いよいよ秋らしくなって参りましたが如何お過ごしでしょうか。

只今、山中湖は紅葉が盛の時期にあります。富士山も赤く、秋色に染まっております。

山中湖センター内も秋らしくなっています。少し寂しさを感じますが、この時期ならではの、朝のひんやりした空気と朝もや、紅葉をさらに赤く見せる朝日を浴びた景色は、少しワクワクした気持ちにさせてくれます。

木葉の舞う中、90周年記念募金で行われている施設修繕も進んでおります。日を追う毎に綺麗になる施設を前に、皆様の尊い募金に深く感謝しております。皆様も秋の山中湖と綺麗に修繕されたセンターを是非見にいらしてください。

山中湖では最低気温1℃を記録しました。寒さも厳しくなっています。皆様もお体には気を付けてお過ごしください。

## YMCA News

山手センター 岡田ナスカさん

1. 山中湖センター開設90周年記念施設整備募金として、14,814,206円(11月2日現在)が寄せられている。
2. 「第30回会員ソフトボール大会」が10月14日、東京健保組合大宮運動場(出版健保ランド)で開催され、16チームがプレイした。応援やボランティアを合わせて266名が参加した。東京YMCAにはほんご学院に入学したばかりの留学生22名も加わり、秋晴れの空の下、国際色豊かな大会となった。
3. 10月27日～29日、「ソウルYMCA創立110周年記念式典」がソウルで行われ、神保伊和雄氏(国際委員)、井口 延氏(元総主事)、堀口廣司副総主事の3名が出席した。ソウル市長も出席した28日の式典では、東京YMCAを代表して井口 延氏が祝辞を述べた。
4. 10月30日～11月2日、北京にて「東京ー北京YMCAパートナーシップ締結20周年記念会」が開催され、勝田正佳氏(評議員会会長)、寺門文雄氏(監事)、廣田総主事をはじめ、東京YMCAから6名が参加した。過去20年間の歩みを振り返るとともに、これからも両YMCAのパートナーシップを強め、交流を深めることなどが確認された。
5. 今後の主な行事日程
  - ・山中湖センター90周年記念施設整備募金チャリティコンサート 11月 8日 (霊南坂教会)
  - ・YMCA/YWCA合同祈祷会 11月14日 (AYC)
  - ・会員協議会ソシアスフォーラム/山中湖センター90周年記念募金感謝会  
11月16日～17日 (山中湖センター)
  - ・クリスマスオープンハウス  
12月23日 (東陽町センター)